

岐阜農林事務所の普及活動状況

平成26年6月30日現在

今月の重点活動

■いちご、えだまめ、かき **産地構造改革推進チームが始動**

6月13日、JAぎふ本店において、農業普及課とJAぎふ担当者による園芸産地構造改革支援事業推進会議を開催した。事業推進の核となる産地構造改革推進チーム構成員を決めて推進体制を確認し、産地改革プラン案及び本年度事業計画案についての情報共有と検討を行った。その後、各推進チームに分かれ、解決すべき課題や今後の計画などについて活発に意見交換を行った。



【各推進チームによる検討】

活力ある新産地づくり

■アスパラガス **第1回アスパラ塾を開催**

6月6日、JAぎふ正木支店において、塾生10名を含む14名の参加で第1回アスパラ塾を開催した。室内講義では、農業普及課はアスパラガスの生理生態、ハウスでの栽培の流れについて説明した。既に栽培されている生産者だけでなく、新規栽培を考えている参加者からも活発に質問がされた。講義終了後、収穫中の生育旺盛なアスパラガスの状況を確認し、塾生の興味を益々盛り上げた。



【アスパラ塾での現地講義】

売れる農畜産物づくり

■麦類 **適期収穫の推進**

麦の収穫作業は、5月末から山県市の大麦に始まり、6月3日の岐阜市と本巣市の小麦へと進んだ。農業普及課は、JAと連携して収穫前水分調査を行い、適正水分（30%未満）での刈取り作業日程を示して適期刈取りを指導し、6月18日を最終に収穫は完了した。品質は概ね良好であるとのことであった。



【収穫開始】

■トマト **黒野トマト部会の出荷本格化**

6月2日、JAぎふ黒野支店において、黒野トマト部会の目揃会が開催された。今年の生育は春先の低温により生育が遅れぎみであったが、その後の好天により生育が持ち直し、5月16日から収穫が始まった。去年は、生協から過熟ぎみだとのクレームがあったことから、収穫する際の着色基準を励行するよう意識統一が図られた。農業普及課は、樹勢の維持、灌水・追肥管理や芽かき・摘果など栽培管理のポイントを指導した。



【目揃会での検討】

■にんにく **ほ場巡回開催**

6月6日、根尾にんにく部会では生育状況の確認のため、ほ場巡回を兼ねて現地研修会を開催した。農業普及課は実物を確認しながら、高品質に向けた適期収穫の推進とその見極め方法について指導した。この冬は積雪がなく、分球が良好に進むか心配されたが、大玉傾向の見込みである。現在は乾燥庫で乾燥作業が行われており、7月初めに市場へ出荷予定である。

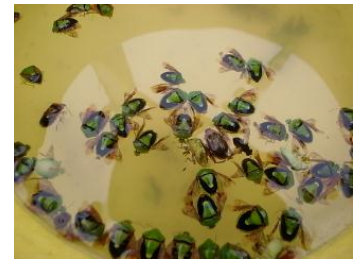


【ほ場巡回風景】

■柿 岐阜市かき共販振興会役員会

6月17日、岐阜市かき共販振興会役員会が黒野農産物流通センターで開催された。今年8月26日、27日に開催される全国カキ研究大会の役割分担などが検討された。

農業普及課からはかきの生育状況、病害虫の発生状況などについて情報提供を行った。特に、注意報が発令されているカメムシについては、現在フェロモントラップへの誘殺数は減っているが、注意の必要性を強調した。



【捕殺状況】

戦略的な流通・販売

■農産物直売組織 収穫体験

管内の若手農業者で構成する直売組織「エフスリー協議会」では、直売所顧客など消費者を対象にしたPRイベントとして5月3日にいちご狩り、6月7日にトマト狩りを開催した。会場は、メンバーのほ場（本巣市のいちごハウスと北方町のトマトハウス）で、それぞれ100名と30名の消費者が参加した。農業普及課では、同時開催された直売に向けての表示指導や当日参加者の質問に答えるなどの対応を支援した。

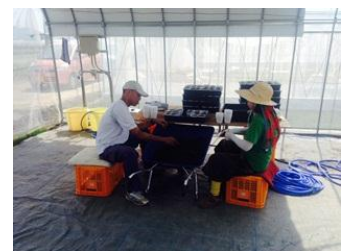


【いちご収穫方法を説明】

多様な担い手の育成・確保

■いちご 新規就農者が栽培をスタート

J A全農岐阜のいちご研修施設を修了した3名（岐阜市2名、本巣市1名）の研修生が6月1日から、いちご栽培を開始し、全員各地域の生産組織に加入した。農業普及課では、関係機関と連携し、施設の準備から支援してきたが、今後も育苗管理や栽培管理などを丁寧に分かり易く指導していくこととした。



【いちごの育苗作業】

■女性農業経営アドバイザー POP研修

6月24日 岐阜ブロックの女性農業経営アドバイザーは、自分たちの農産物の宣伝力を向上するために、POP研修を企画した。POP協会から講師を招き、POPの特性の説明や、専用のペンによる実習を行った。今後は、それぞれの直売所出荷時やバイヤーへの説明時に応用できることが期待される。農業普及課は、研修開催の支援と当日一緒に研修を受けて、スキルアップにも努めた。



【出来上がったPOP】

県民みんなで育む農業・農村

■食農教育 学習支援

管内の幼稚園児や小学生を対象とした農業体験学習を、毎年地元生産者やJ Aと協力して実施している。6月4日は羽島市、5日は本巣市、28日は各務原市でそれぞれ行われた稲作体験において、田植えを指導した。子供たちからは「米はいつ頃から作り始めているの？1株に米粒はいくつあるの？アイガモ農法とは何？カメムシやジャンボタニシの対策は？」などたくさんの質問があった。



【田植え前の説明】